

ウィズコロナ・アフターコロナに向けた見直しの検討（案）

新型コロナウイルス感染症により、

- ①地域の経済・生活に影響が生じている。
- ②デジタル化など社会変革に向けた取組が加速している。
- ③テレワーク等の経験により、地方移住や副業、ワークライフバランスの充実への関心の高まりがみられる。

まち・ひと・しごと創生基本方針2020（国）

○地域経済・生活の再興

地域の経済・生活を守り抜くとともに、地域内外の交流の再活性化や地域の賑わい創出等に取り組み、地域経済を早期に立て直す。

○新たな日常に対応した強い地域経済の構築と東京圏への一極集中の是正

新たな日常への変化に対応するため、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進し、暮らし、福祉・医療、教育など生活に不可欠な機能を確保・充実させる。

ウィズコロナ・アフターコロナに向けた見直しの方向性（案）

- ①新たな日常に対応した暮らしの充実（福祉・医療、教育など）
 - ・ICTを活用した教育の充実、オンライン相談等による子育て支援・健康事業の推進など、デジタル技術への積極的な投資
- ②事業の継続と地域産業の活性化
 - ・IoT、5G等情報通信技術を活用した新たな商品サービス開発・新事業の創出等の取組の支援
 - ・特色ある農林水産品、観光資源を活用した新たな商品やサービスの開発（AR等）、海外を含めた販路拡大への支援
- ③移住の促進、関係人口の創出・拡大
 - ・リモートワーク推進等による移住の推進、地方へのU・Iターンによる企業・就業者の創出等

★今後、新型コロナウイルス感染症による各施策への影響を踏まえ、見直しの方向性に沿って第2期総合戦略の内容修正を検討する。